

2025/11/30

あっという間にアドベント（待降節）

山里 将之

みなさん、こんにちは！
貝塚聖書教会の山里将之です。

今日で11月ももう終わり、明日から12月、「師走」です。キリスト教会ではクリスマスをお祝いする準備が始まり、文字通り、牧「師」も走り、信徒の皆さんも大忙し。私の所属する貝塚聖書教会では、先週11/23（日）の礼拝後に大掃除を行い、クリスマスのオーナメントを飾り付けました。これから年のひと月、喜びに満ちたものとなりますように！



今年も教会玄関にはクリスマス・リース！

クリスマスまでの4週間をアドベント（待降節）と言います。アドベントとは「到来」とか「接近」といった意味のラテン語 Adventus（アドベントゥス）に由来し、全能の神様がイエス様となってこの世界に「到来」したこと、またその日が「接近」していることを記念する期間です。クリスマスまでの4週間、まさに今、この季節が今年のアドベントなわけですが、今年は本当に、あっという間にアドベントになったなあと思います。



外壁と屋根が色鮮やかに！

以前、どこかでも記したかも知れませんが、2025年の今年は、貝塚聖書教会の創立40周年の年でした。記念礼拝を挙げ、40周年記念誌を発行し、建物のメンテナンスとして外壁および屋根の塗装と会堂の壁紙、床材の交換を行いました。そんなわけで、夏までの前半は大忙し。夏が明けてからもなんやかんやで、気がつけばあっという間にアドベントとなっていました。いやあ、我ながらよく乗り越えられたなあと思います。40年の営みを護って下さった神様の支えと、ご協力くださった皆さんのおかげです。心から感謝！

実は、貝塚聖書教会では、毎年、年末最後の日曜日は年末感謝礼拝と呼んで、一年の振り返りと感謝を分かれ合う一コマがあります。ここに記したことは、本当だったら一ヶ月後の年末感謝礼拝でお話しする内容なんですが、この「チャペルの窓」でちょっとフライング。ちなみに貝塚聖書教会の、本日11/30（日）の週報にも同じ内容でかなり端折った記事を載せました。神様が与えて下さった素晴らしい記念の年を心に留めつつ。

わがたましいよ 主をほめたたえよ。主が良くしてくださったことを何一つ忘れるな。

詩篇 103 篇 2 節、聖書 新改訳 2017 ©2017 新日本聖書刊行会

皆さんにとっては、この2025年はどんな一年だったでしょうか…アドベント、クリスマス、そして新しい年、2026年の営みの祝福を願い、お祈り致します。